

資料3

科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
大学共同利用機関改革に関する作業部会(第3回)R1.9.6

本作業部会における分野別ヒアリングの実施について(案)

1. ヒアリングの趣旨

大学共同利用機関が自己検証を実施するにあたって、検証の主な観点や指標例等について関係者から意見を聴取し、大学共同利用機関の検証ガイドラインを策定する際の参考とする。

2. ヒアリングの内容

「大学共同利用機関の検証における主な観点と指標例」について、例えば以下についてヒアリングを行う。

① 検証の進め方について

- ・検証の進め方について、大学共同利用機関の改革を進める観点から要望はあるか。

② 主な観点について

- ・大学共同利用機関が自己検証をする際の観点として有効か。
- ・修正すべき点又は追加すべき点はないか。

③ 指標例について

- ・指標例は、該当する備えるべき要件や①の主な観点をチェックする指標として適切か。
- ・指標例として修正すべきもの又は追加すべきものはないか。

3. ヒアリング方法

- ・分野別観点に関係する各大学共同利用機関(別添資料参照)から、①について資料2-1、及び②について資料2-2に関する意見を聴取する。
- ・その際、当該分野に係る機関に属さない有識者1~2名からも意見を聴取する。
- ・ヒアリングは、3~4回実施する予定。

(検討をお願いしたい論点)

- ・分野の括りは概ね妥当か。
- ・これらの分野以外の研究者からも意見を聴取すべきか。
- ・ヒアリングは各機関ごとに行うか、(法人を)代表する機関に行うか。
- ・「対応する分野の機関に属しない外部研究者」として、どのような方から意見を聴取するとよいか(例えば、各機関の運営委員会の外部委員)

(別添資料)

大学共同利用機関の検証ガイドラインに係るヒアリング対象の選定について

※分野区分はヒアリング実施の検討のため便宜上各機関に一分野を割り当てたものであり研究活動を限定するものではない。

大学共同利用機関	大学共同利用機関法人	分野別観点(※5)							機能別観点		
		人文学	数学	物理学	生物学	情報学	環境	その他	大型設備	データ	情報基盤
国立歴史民俗博物館	人間文化研究機構	○								○	
国立民族学博物館		○								○	
国文学研究資料館		○								○	
国立国語研究所		○								○	
国際日本文化研究センター		○								○	
総合地球環境学研究所								○		○	
国立極地研究所	情報システム研究機構						○			○	
国立情報学研究所						○					○
統計数理研究所			○							○	
国立遺伝学研究所					○					○	
基礎生物学研究所	自然科学研究機構				○					○	
生理学研究所					○					○	
分子科学研究所				○					○		
国立天文台				○					○		
核融合科学研究所				○					○		
素粒子原子核研究所	高エネルギー加速器研究機構			○					○		
物質構造科学研究所				○					○		
ヒアリング対象者	機関の代表者※1	1~5名	1名	2~5名	2~3名	1名	2名		※4		
	外部研究者※2	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	※3			

※1 各機関の代表者は、原則全機関1名ずつとしつつ、同一大学共同利用機関法人の機関については機関が代表して聴取することも想定。

※2 外部研究者は、対応する分野の機関に属しない研究者1~2名とし、大学の共同利用・共同研究拠点の関係者も加える。

※3 現在大学共同利用機関が対応していない分野の研究者も必要に応じて加える。

※4 機能別観点は、分野別のヒアリング時に該当する機関から聴取する。

※5 各機関は、便宜上割り当てられている一分野以外の分野の観点からも意見を出すことができるようにする。